2026 年 9 月 29 日　第 2 版

「脳梗塞患者に対する尿道留置カテーテル適正使用前後の留置状況と転院時機能的指標の変化」について

山口県立総合医療センター看護部では、臨床研究倫理審査委員会の承認を受けて、院長の許可のもとで下記の研究を実施しております。内容を確認いただき、研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合は研究の対象といたしませんので、2027 年 3 月 31 日までにご連絡下さい。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

研究責任者：藤本　晃治

- 研究の意義と目的
  当院 4 階北病棟では 2025 年度より尿道留置カテーテル（以後 UC とします）の適正使用に取り組んでいます。本研究は、当院 4 階北病棟に脳梗塞で入院となった患者様を対象として、UC の使用状況や患者様の日常生活に関する状態を調査し、取り組み前後での変化を明らかにすることを目的としています。この結果を、今後 UC をより適切に使用するための基礎資料として活用することを意義としています。。
- 対象となる患者様
  2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の間に、当院 4 階北病棟に脳梗塞で入院となった患者様です。
- 研究実施期間
  院長許可後から 2028 年 3 月 31 日まで
  研究者が対象となる患者様の診療情報を元に、データを収集します。集められたデータから、UC 使用に関する現状を分析します。研究は単施設での観察研究となります。
- 取り扱う診療情報
  研究資料には診療録から以下の情報を抽出し使用させていただきます。
  あなたの個人を特定できる情報は削除し、研究用の番号に置き換えてすぐに個人が特定できないように加工した状態でデータ処理し、個人情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。
  身体データ（年齢、性別、疾患名）、入院時 mRS（modified Rankin Scale）、転院までの日数
  UC に関するもの：挿入の有無、挿入期間、抜去の有無、再挿入の有無、転院時の UC の有無
  機能的指標に関するもの：退院時の FIM（Functional Independence Measure）運動項目　退院時の FIM 認知項目、退院時の日常生活機能評価
- 情報の保護
  情報は山口県立総合医療センターの研究施設内で厳重に取り扱います。電子情報はパスワードで制限され、外部と遮断されたコンピュータ内に保存されます。
  調査結果は個人が特定できない形で、学会発表する予定です。
- 問い合わせ窓口
  この研究にご質問がありましたら下記までお問い合わせください。

山口県立総合医療センター
看護師　藤本晃治（研究責任者）
脳神経外科医師　浦川学（研究分担者）
電話 0835-22-4411（代表）　FAX:0835-38-2210